

◆ 平成27年度活動報告シート ◆

団体名：元荒川の水辺に親しむ実行委員会

代表者：布施雅子

URL：

1. 活動が必要とされた状況

元荒川は、3面護岸もなく里地で唯一自然の景観が残っている自然型河川です。また、いろいろな歴史が色濃く残っています。このような河川をこのままの状態の後世に残すことが、今の私たちに課せられた義務ではないかと考えました。それには、大勢の人を川辺に呼び寄せ、親しんでいただくことが「河川愛護」の意識を高める有効な手段ではないかと考え、環境調査を兼ねたカヌー下りを計画しました。今回の事業は、環境調査と川に親しむということを兼ねた1石2鳥の活動で、勉強と遊びの二本立てです。なお、実行委員会には、10組の河川愛護団体が参加しました。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) 実施時期と場所

7月19日(日) 元荒川（吹上桜並木～三ツ木堰）

(2) 参加人数 65名（カヌー20艇）

競技者：41名、スタッフ：24名

(3) 活動内容

- ①護岸や周囲の状況を、川面から市民の目線で調査。
- ②調査結果の撮影（8/8に、プリントアウト、掲示、採点）
- ③表彰（鴻巣市長賞、鴻巣市教育長賞、実行委員長賞）



二重橋下の通過は気持ちいい！！

3. 活動の成果

元荒川の全流路や中川に関心を寄せる市民団体が一つになって取り組んだ広域的な活動です。日常の活動エリアだけにとどまらず、元荒川全流域を意識することに繋がる有意義な活動ではないかと考えます。



シラサギの野営地もありました。



感動体験記録写真の審査風景

今回、吹上の素晴らしい桜並木や橋にかける市民の思いなどが感じとれました。また、シラサギの野営地等も確認でき、元荒川の豊かな動植物環境が確認できました。

4. 今後に残された課題

- (1) 協力していただいた、自治体への結果報告と河川へのPRの働きかけ。
 - (2) 一般市民への広範囲な広報活動。
- ※河川のイベント等に積極的に参加し、今回の成果を発表していく。
- (3) 安定したルートを選定し、年1回程度は定例開催できるよう検討していく。



長島環境経済部長様より感動体験大賞（市長賞）の授与